

---

---

## 第3回 御堂筋空間利用検討会 議事要旨（案）

---

---

1. 日 時 平成22年7月1日（水）15:00～17:00
2. 場 所 中央区民センター 2階ホール
3. 出席者 （別紙参照）
4. 議事次第
  - 1) 第2回検討会議事要旨
  - 2) 対策案の検討状況について
  - 3) 空間再編の事例について  
～みちが核となったまちづくりの紹介～
  - 4) 意見把握結果について

---

---

### ○意見の概要

#### 〔対策案の検討状況に関して〕

- 1, 御堂筋を「車中心」から「人中心の空間」へと移行させていくには、委員それぞれの考え方に、かなりの幅があるため、その幅を出来るだけ縮めていく必要があると考えられる。
- 2, 交通処理を工夫することによって、現状の所要時間とそれほど変わらない状態にもっていくことが可能であれば、緩速車線を絞る、あるいは閉じることに對して、納得していただける。
- 3, 愛日連合、船場連合、久宝連合では、イチョウ並木はそのままにして欲しいという意見が強い。右左折専用レーン設置によるイチョウ並木の撤去は根本的におかしい気がする。
- 4, 自転車事故のほとんどが当て逃げである。自転車の走行については、警察との関連もあると思われるが、かなりの制限をかけていただきたい。
- 5, 御堂筋の駐輪問題は収まっても、一本中へ入った筋の、不法駐輪による影響は危険極まりない。御堂筋周辺の街路についても十分改良等をお願いする。
- 6, 御堂筋を横断する歩行者用青時間は、高齢者にとっては短い。横断時、青信号は1回待つ、というようなPRを国交省で行っていただきたい。
- 7, 長期的に考えると、これからは「車中心の道路」から「人に優しい道路」という意見が大半であると思っている。世界の都市部においても、車両に規制をかけ、同様の方向に進んでいる。
- 8, 自転車はエコな乗り物ではあるが、車両であり、歩行者にとっては危険な存在である。放置自転車対策として、すべての自転車に駐輪場を設置することについては反対である。適度な駐輪スペースをつくりながら、規制を行う対策が必要だと考えている。
- 9, 有名ブランド店や百貨店へ、車両で来店する顧客のニーズも多い。一部の利用者に対してではあるが、停車帯を設け、バレットパーキングシステムのようなものが可能となるよう考えていただきたい。

- 10, 「人にやさしい方向」、「人にやさしいとはどういう意味なのか」を、今後詰めていきたいと考えている。
- 11, 御堂筋上で荷捌きをされている現状を踏まえると、駐車帯の設置検討は重要な要素であると感じる。
- 12, 緩速車線を閉じた場合の渋滞は問題であるが、緩速車線をどのように使っていくかを基軸におくと、各対策案ごとに算出されている所要時間は、さほど重要視する必要はないと感じる。
- 13, 将来交通量（10年後等）でシミュレーションをする必要があるのではないか。
- 14, タクシー協会の内部検討では、車線数が減ること自体に反対である。ただし、自家用車の進入禁止で、公共交通のみが進入できる道路ということであれば、車線数を減らすことが可能であると考えられる。
- 15, 大阪の、都市交通全体を考えて検討していただきたい。（例えば大和川以南と淀川以北については、ゲート等を設け、大阪市内へ入ってくる車両を減らすことができると考える。）
- 16, シミュレーションのデータはあまり信用できない。データが不足していると思う。実際に緩速車線を閉じて社会実験を行い、その上で答えを出せば良いと考える。
- 17, 大きな車線運用の見直しは公安委員会（交通管理者）との協議事項であり、協議はどうなっているのか。
- 18, 歓楽街であるミナミの東西方向の道路については、タクシーの乗り入れを禁止しており、乗降は御堂筋に限定される。車両の荷捌きについては、一方通行道路の路肩に停車しているが、一時停車出来る路線が非常に少ない。これらの構造を念頭に入れて、シミュレーションをしていただきたいと思う。
- 19, 夜間のタクシー乗降による渋滞、それらの苦情といった現状分析を踏まえた上で検討をしていただきたい。

#### 〔空間再編の事例に関して〕

- 20, 本来ならば時間をとり、この事例（みちが核となったまちづくりの紹介）を踏まえて我々の御堂筋にどう活用すべきか今後、議論いただきたい。

#### 〔意見把握結果に関して〕

- 21, この検討会として、将来に向かってこの良い財産をどう次の世代に残していくか、大阪の顔として、誇りとしてどういう風に御堂筋を皆さんの財産としてこれから引き継いで行くのが重要であり、中長期にわたるこの「あり方」ということの方角を検討会からも提案していきたい。そのためにも市の考えを「是非とも」、折を見て、出して頂きたい。
- 22, 問題対応型の目に見える問題から対策をとることを一般的に行うが、市民、沿道の皆さんのご意見を聞くと、「あまり問題がない」、逆に「大きな問題がある」と様々な意見の方がいる。緊急の課題と長期的に考えていく課題を分けて検討する必要がある。

- 23, 安全性を含め、緊急性があって、問題対応型で解決していかなければならないことについては、皆さんが一致する課題であると理解できる。
- 24, 市全体の資産を、長期的にいかに活用していくかの議論について、いつまで経っても結論が出ないのは困るが、時間をかけて議論しなければならない。
- 25, 市長の個人的な意見であっても、市の職員さんがこう考えてこうしたいというのを言ってもらっても結構であり、とにかく市はこう考えているんだというものを一度出していただくことが必要。勿論、道路管理者の国交省もこうしたいという、意思表示をしてもらえれば有り難い。
- 26, 将来の御堂筋のあり方について、大阪市に移管されるということも踏まえ、大阪市長に意思表示をしてもらえないか。
- 27, 商店やビル、会社などの沿道の皆様方の協力体制を是非とも作って、駐輪・駐車の問題について、地元の皆さんに力を合わせて取り組んでいただきたい。
- 28, 1～2ヶ月間、御堂筋を自転車は一切通行出来ない、自転車で御堂筋を通る場合は乗らないで牽いて行くという社会実験をしてほしい。
- 29, 「カフェテラス」を道路で商売するなんてとんでもない。ただでさえ狭い御堂筋、「カフェテラス」は自分の屋敷の中ですべきである。
- 30, 沿線の小学校跡地を売るのではなく、駐輪場に改装してもらいたい。
- 31, 歩行者の信号無視を沿線の警察署で徹底的に取り締まって欲しい。
- 32, 4kmあるこの道路、これを皆が関係するものを含みこの空間をどう利用するのか、トータルで行うのか、少し地域地域で特性を持たせながら行うのか、この観点を加味しながらやって頂きたい。
- 33, 緩速車線を含めた新しく出来上がった大きな道路空間というものの全体を、どう御堂筋のブランドイメージアップのために、何を加味していくのか、何を造っていくのか、という観点をこの議論の中に含めていって頂きたい。
- 34, ミナミまち育てネットワークでも御堂筋について、まちづくり委員会の中で議論をしている。課題の解決とともに、将来ビジョンもその中で謳っていきたい。
- 35, 今、御堂筋の中で起きていることとして、緊急事案と未来に向けた事案と大きく二つあると考えている。緊急事案というのは、安全性の問題である。自転車と歩行者の分離というのを早急に片付けていただきたい、何か対策を立てていただきたい。
- 36, 将来の大阪に向けての御堂筋という顔をどうするのか、御堂筋から大阪を元気にしていくんだ、という観点到立つ必要がある。
- 37, 道路ではなくて、エリアの色んな特区であるとか、そういうことも考えながらエリア全体を開発し、御堂筋から大阪を元気にすることは可能ではないか。
- 38, 短期、長期の観点から、御堂筋を国民にとってすばらしいモデルロードにしていくという観点が必要。

以上

別紙－出席者名簿

所属・役職等	出欠	出席者氏名
大阪工業大学教授・リエゾンセンター	○	村橋 正武
立命館大学教授	○	塚口 博司
大阪ガス(株)エネルギー・文化研究所 主席研究員	○	栗本 智代
中央区愛日連合振興町会 会長	○	木下 修二
中央区船場連合振興町会 会長	○	橋本 英男
中央区久宝連合振興町会 会長	○	芦田 圭一
中央区芦池連合振興町会 会長	○	芝池 博司
中央区御津連合振興町会 会長	欠	中村 廣
中央区精華連合振興町会 会長	欠	菊地 正紀
中央区南商店会連合会 会長	欠	千田 忠司
心斎橋筋商店街振興組合 理事長	○	竹田 行彦
宗右衛門町商店街振興組合 理事長	欠	岡本 敏嗣
アメリカ村の会 会長	○	井原 正博
三休橋筋商業協同組合 事務局	代理	岡本 浩典
長堀21世紀計画の会 理事長	○	吉田 正雄
御堂筋まちづくりネットワーク 都市環境部会長	○	村田 正隆
ミナミまち育てネットワーク 街づくり委員会委員	○	西川 孝彦
中之島・御堂筋SBJ連絡協議会 代表	○	成松 孝
関西経済同友会 「水都・大阪」推進委員	代理	丸山 将之
関西経済連合会 参与	代理	山下 篤樹
大阪商工会議所 地域振興部長	○	吉田 豊
大阪タクシー協会 専務理事	○	足立 堅治
全国個人タクシー協会 近畿支部 支部長	欠	山本 茂
大阪府トラック協会 常務理事	代理	長野 稔